

キイトルーダ®とレンビマ®の併用療法を受けられる 患者さん・ご家族の方向け キイトルーダ®情報サイト

[医療従事者の方はこちら](#)



キイトルーダ®とレンビマ®の働きについて

[ホーム](#)

[キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療の前に](#)

[キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療とその注意点](#)

[キイトルーダ®とレンビマ®の特に注意すべき副作用](#)

[キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療 Q&A](#)

キイトルーダ®とレンビマ®の働きについて

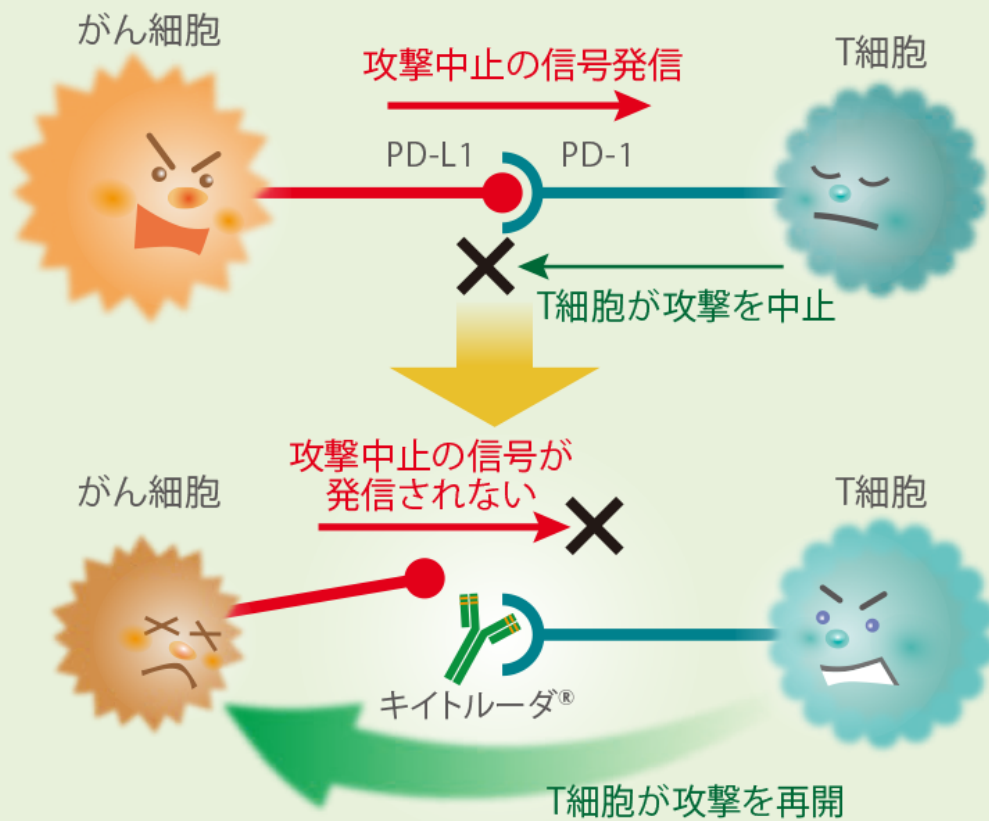
このページのトピック一覧



キイトルーダ®の働き

キイトルーダ®（ペムブロリズマブ）は「抗PD-1抗体」とよばれる免疫チェックポイント阻害薬で、T細胞のPD-1に結合することにより、がん細胞からT細胞に送られているブレーキをかける信号を遮断します。その結果、T細胞が活性化され、抗がん作用が発揮されと考えられています。

キイトルーダ®

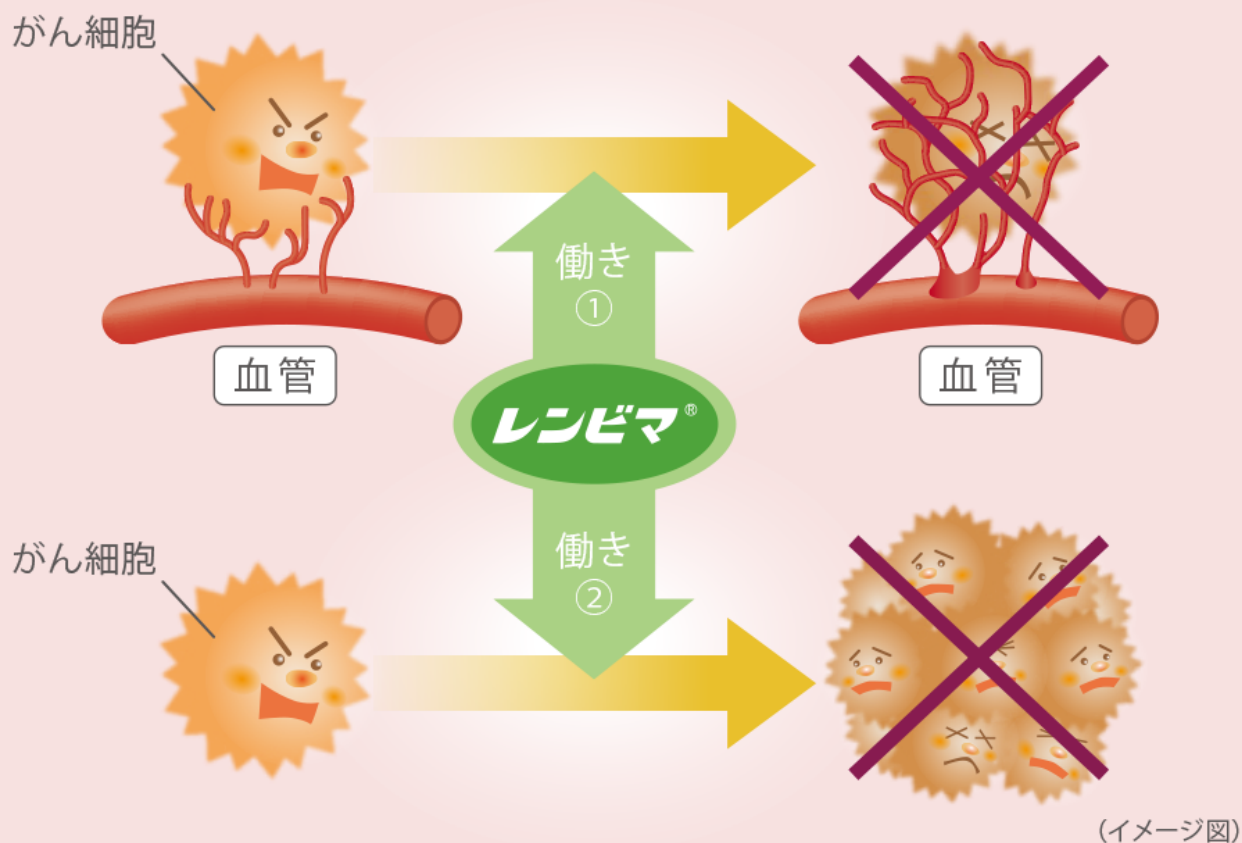


レンビマ®の働き

レンビマ® (レンバチニブメシル酸塩) は「分子標的治療薬」というタイプの抗がん剤で、「血管新生※を阻害する」働きと「がん細胞の増殖を抑える」働きによりがんの進行を抑えていると考えられます。

※がん細胞の増殖には、多くの栄養が必要です。そこで、がん細胞は周りの血管から栄養を得るための新しい血管をつくり出します。これを「血管新生」といいます。

レンビマ®



キイトルーダ®とレンビマ®を併用することの意義

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療は、2つの薬が異なる作用でがんを攻撃するため、双方の治療効果が期待できます。

キイトルーダ®.jp

ホーム

キイトルーダ®とレンビマ®の働きについて

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療の前に

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療とその注意点

キイトルーダ®とレンビマ®の特に注意すべき副作用

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療Q&A

がんを生きる



MSD Oncology



▶ 関連サイト「がんを生きる」はこちら

がんの治療に取り組む患者さん、ご家族のためのがん情報サイトです。

[個人情報の取扱い](#) | [ご利用条件](#) | [COPYRIGHT](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#) | [アクセシビリティ](#)



このサイトはMSDが運営しています

Copyright © 2023 Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA and its affiliates. All rights reserved.